

エコアクション21 環境経営レポート



(2025年1月～2025年12月)



発行：2026年2月10日



緑造園興業株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の 環境経営目標及び環境経営計画	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	12
10. 具体的取組内容	13

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本 社	香川県高松市亀田南町742番地1	TEL：087-899-1528
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸407番地1	TEL：087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160番地2	TEL：0879-52-5340
資材置場	①香川県木田郡三木町井戸355番地1 ②香川県木田郡三木町井戸404番地1、2、3 ③香川県木田郡三木町井戸406番地1、3、4	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 課長 山下美和	TEL：087-899-1528

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業
産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ） （許可番号 03703131469・有効期限 2026年12月17日）		

(5) 事業の規模

売上高	6億498万円	
工事等の件数	569件	
従業員	50名（うちパート15名）	（2025年12月31日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所
従業員	28名	21名	1名
延べ床面積	80㎡	305㎡	13㎡
	資材置場-1	資材置場-2	資材置場-3
従業員	無人	無人	無人
敷地面積	843㎡	875㎡	318㎡

(6) 事業年度

1月1日～12月31日

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 登録事業所

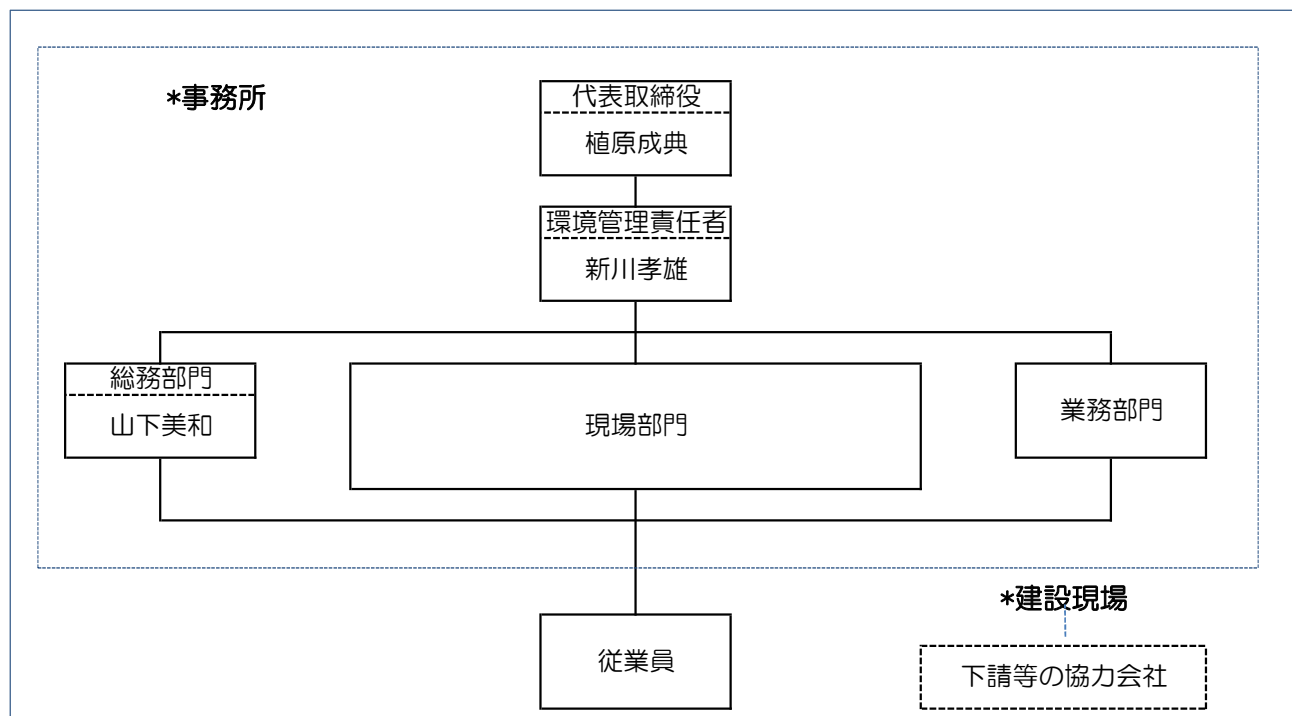
本 社	香川県高松市亀田南町742番地1
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸407番地1
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160番地2
資材置場	①香川県木田郡三木町井戸355番地1 ②香川県木田郡三木町井戸404番地1、2、3 ③香川県木田郡三木町井戸406番地1、3、4

関連事業所 無

(2) レポートの対象期間

2025年1月1日～2025年12月31日
発行日 2026年2月10日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 環境経営目標、環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 緊急事態への対応マニュアルの承認 - 環境経営レポートを確認し、承認 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境経営計画書を作成 - 環境経営の取組結果を代表者に報告 - 環境経営レポートの作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態への対応マニュアル作成 - 取組に必要な手順書の作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

3. 環境経営方針

緑造園興業株式会社 環境経営方針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑤ 環境配慮への取組
- ⑥ 地域社会への貢献

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日
改訂日：2019年1月27日

代表取締役 植原 成典

4. 環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	96,246 0.5%削減	95,763 1%削減	95,279 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438 0.5%削減	436 1%削減	433 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	276	273 1%削減	270 2%削減	268 3%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2020年～2022年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.527（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力公表2021年度実績に基づく）

※3 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。
当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択する。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。
化学物質の適正使用量の徹底

【短期目的・目標】

〇取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

〇全体

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	95,279
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	13,590
	ガソリン使用量	L	13,281
	軽油使用量	L	22,486
	灯油使用量	L	296
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	276	268
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

〇事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,386
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,301
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433
水総使用量の削減	m3	258	252
地域社会への貢献	回	12	12

〇建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
ガソリン使用量の削減	L	9,930	9,781
軽油使用量の削減	L	22,486	22,149
灯油使用量の削減	L	296	292
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	18	16
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100

5. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①太陽光発電 ②緑のカーテン実施 ③適正温度の維持
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底、機密文書リサイクル利用 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化
水使用量	節水	①雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収
地域貢献	ボランティア・美化活動	①消防団活動 ②事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施 ③重機使用時間短縮化の推進 ④機材の電動化
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等の導入 ③残液を出さない必要量だけの薬剤調合
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討

6. 環境経営目標の実績

【短期目的・目標・実績】

〇取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

〇全体

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度	実績 2025年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	95,279	107,748	13%増加	×
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	13,590	13,386	32%増加	×
	ガソリン使用量	L	13,281	13,082	16%増加	×
	軽油使用量	L	22,486	22,149	15%増加	×
	灯油使用量	L	296	292	23%削減	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433	540	25%増加	×
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100		○
水総使用量の削減	m3	276	268	54	80%削減	○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

〇事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度	実績 2025年度	目標対比 (%)	評価
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,386	17,641	32%増加	×
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,301	3,644	10%増加	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433	540	25%増加	×
水総使用量の削減	m3	258	252	53	79%削減	○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

〇建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度	実績 2025年度	目標対比 (%)	評価
ガソリン使用量の削減	kWh	9,930	9,781	11,557	18%増加	×
軽油使用量の削減	L	22,486	22,149	25,573	15%増加	×
灯油使用量の削減	kg	296	292	226	23%削減	○
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100		○
水総使用量の削減	m3	18	16	1	94%削減	○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○

工事量の増加に比例して建設現場のエネルギー使用量が増加したことや、感染対策として事務所でペーパータオルを使用したことから一般廃棄物の排出量が増え全体的な目標を達成することができなかった。

事務所移転に伴いエアコン台数や照明器具が増え電気使用量は増加したが、社屋に設置した太陽光パネルが1月より稼働したことにより、発電した電気を事務所で使用したため二酸化炭素排出量が削減した。

一般廃棄物、産業廃棄物、剪定・除草ゴミはリサイクル業者への持ち込みを継続し、再資源化に努めている。
当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択できたが、廃プラスチックが埋立処分となるため、全体の再資源化率は96.8%にとどまった。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○事務所

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①太陽光発電	○	○	○	○	○
		②緑のカーテン実施	－	○	○	－	○
		③適正温度の維持	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底、機密文書リサイクル利用	○	○	○	○	○
		②ミスプリント防止のため事前確認の徹底	○	○	○	○	○
		③文書電子化	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①雨水の利用	○	○	○	○	○
		②節水啓発ポスターの掲示	○	○	○	○	○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収	○	○	○	○	○
		②ペットボトルキャップの回収	○	○	○	○	○
地域貢献	ボランティア・美化活動	①消防団活動	○	○	○	○	○
		②事務所周辺の清掃活動を実施	○	○	○	○	○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない －：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取組は計画通り実施できた。 社屋の屋根に設置した太陽光パネルが1月より稼働、発電した電気を事務所で使用したため二酸化炭素排出量が削減した。（電気使用量36%を太陽光発電より使用） また、事務所南側にゴーヤとアサガオの緑のカーテンを設置し、直射日光を遮り適正温度の維持に努めた。エアコンが効きにくい応接室に間仕切りとエアコン1台を新たに設置したことにより、効率よく適正温度を維持することができた。
廃棄物	具体的な取組は計画通り実施できた。 新たに工事日報及び工事台帳等共有できるクラウドソフトを導入し、文書電子化に取り組んだ。 パソコンを使用する社員が増えたため、両面印刷、裏紙再利用の徹底、ミスプリント防止のための事前確認を再度徹底した。 初めて「エコアクション21スローガン」を社員全員から募集したことにより、改めて環境について考える機会となり意識向上につながった。
水使用量	具体的な取組は計画通り実施できた。 緑のカーテン、花壇の水やりは井戸水を使用しており、上水の使用量を抑えることができた。新たに節水型ホースと自動散水タイマーを設置したことで効率的に水やりを行えた。 節水啓発ポスターの掲示を継続し、節水に対する意識向上を図った。
リサイクル	具体的な取組は計画通り実施できた。 機密文書リサイクル、使用済みのインクカートリッジやペットボトルキャップの回収を継続するとともに、新たに使用済みハブラシを新しいプラスチック製品にリサイクルする取り組みを開始した。 廃棄物を減らし、資源のリサイクル化に積極的に取り組んでいく。
地域社会への貢献	具体的な取組は計画通り実施できた。 マイボトル持参者にお水やお湯を提供できる場所として東讃営業所を「オアシスマップ」に登録した。 地域の子ども野球教室やクロスカントリー大会に協賛・参加、地元企業の特産品購入、消防団活動、献血・ボランティア活動、事務所周辺の清掃活動を実施した。 また、今年も高校生対象の連携授業に造園業者として参加した。 次年度も様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○現場

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施 ③重機使用時間短縮化の推進 ④機材の電動化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②B T 剤（微生物農薬）等の導入 ③残液を出さない必要量だけの薬剤調合	○ － ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ － ○	○ ○ ○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討	○ －	○ －	○ －	○ －	○ －

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない －：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取組は計画通り実施できた。 エコドライブ、歩行者ファーストを心がけ安全運転に努め、燃料消費量削減に取り組んだ。 新たに低燃費、騒音規制の軽トラックを1台入替購入し、ガソリン使用量削減につながった。 今後も継続しながら更なる消費燃料削減に努める。
廃棄物	具体的な取組は計画通り実施できた。 現場での端材や梱包材等廃棄物の分別を徹底し、資材の過剰発注の防止に取り組んだ。 引き続き継続し、廃棄物分別や削減に努力する。
水使用量	具体的な取組は計画通り実施できた。 2025年は雨が少ない一年となったが、現場の灌漑に井戸水を利用したことで上水の使用量を抑えることができた。 次年度も可能な限り井戸水や雨水を使用するとともに、日々の節水を心がける。
化学物質	具体的な取組は計画通り実施できた。 防除の薬剤使用時は、周辺住民への影響を配慮し必要最小限・適正量を調合、散布した。 今後も適切な保管管理の徹底に努める。
剪定・除草 ゴミの 再資源化 (組織本来 の取組)	具体的な取組は計画通り実施できた。 今年も引き続きリサイクル業者への持ち込みを継続し、再資源化の徹底に努めた。 堆肥化した芝を地域住民に配布するなど、新たな資源の循環化を検討する。

7. 次年度環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2026年	2027年	2028年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	103,350	102,833 0.5%削減	102,316 1%削減	101,800 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減 ※3	kg	540	537 0.5%削減	535 1%削減	532 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※4	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	54	53 1%削減	52 3%削減	51 5%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※5	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 事務所移転に伴い事務所電気使用量・一般廃棄物・水総使用量は2025年実績を基準とし、その他は2023年～2025年実績の平均値を基準値とする。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.457（kg-CO2/kWh）を使用した。（四国電力公表2024年度実績に基づく）
東讃営業所の屋根に設置した太陽光パネルで発電した電力6,368kWhを使用した。

※3 スローガンを重点目標として、廃棄物を減らし再資源化に努める。

※4 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。
当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択する。

※5 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。
化学物質の適正使用量の徹底

【短期目的・目標】

○取組期間 2026年1月 ～ 2026年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2026年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	103,350	102,833
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	17,641
	ガソリン使用量	L	15,003
	軽油使用量	L	24,295
	灯油使用量	L	285
一般廃棄物排出量の削減	kg	540	537
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	54	53
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2026年度
電気使用量の削減	kWh	17,641	17,553
ガソリン使用量の削減	L	3,760	3,741
一般廃棄物排出量の削減	kg	540	537
水総使用量の削減	m3	53	52
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2026年度
ガソリン使用量の削減	L	11,243	11,187
軽油使用量の削減	L	24,295	24,173
灯油使用量の削減	L	285	284
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	1	1
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100

7. 次年度環境経営計画

○事務所

○取組期間 2026年1月 ～ 2026年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①太陽光発電 ②緑のカーテン実施 ③適正温度の維持
	ガソリン使用量の削減	①定期的なエンジンオイルの交換 ②エコドライブの実施
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底、機密文書リサイクル利用 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化 ④ボールペン・テープのりなどは詰替式利用
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水型ホース、自動散水タイマー利用
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②使用済みハブラシの回収 ③使用済みクリアホルダーの回収
地域貢献	ボランティア・美化活動	①消防団活動 ②事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2026年1月 ～ 2026年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①定期的なエンジンオイルの交換 ②エコドライブの実施 ③社用車、重機のアイドリングストップ ④機材の電動化
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止 ③資材梱包用ダンボールや緩衝材の再利用
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②B T 剤（微生物農薬）等の導入 ③残液を出さない必要量だけの薬剤調合
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵 守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵 守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵 守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵 守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵 守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵 守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵 守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵 守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵 守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵 守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵 守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵 守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵 守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵 守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵 守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
水 質 汚 濁（排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵 守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵 守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵 守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵 守
農薬取締法	農薬の使用者の責務、使用規制	遵 守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵 守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵 守
	危険物及び有害物に関する規制	遵 守
	労働者就業に当たっての措置	遵 守
	熱中症対策の強化	遵 守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

取り組みを始めて10年、新社屋に移転して1年半が経過しました。今期は、売上増加に起因する環境目標の未達成はあるものの、それ以外は良好な結果となっており、社員一人ひとりの環境に対する意識が定着していると感じています。

今回新たな業務効率化の取り組みとして、これまでの全社員へのスマートフォンの貸与やiPadや現場でのノートPCの活用に加え、夏より工事日報及び工事台帳や原価管理が共有できるクラウドソフトを導入したことで、よりスムーズな情報共有やデータ管理の実現が可能となりました。

また、初めて全社員に「エコアクション取り組みについてのスローガン」を考えてもらい、その中から「出るゴミは考え一つで再資源」を選び来期の重点目標としたことで、各自が環境について改めて考える良い機会となり、更なる意識向上につながったと思います。

今後も、環境経営方針や実施体制を継続しながら相互に声を掛け合い日常の活動を行ってまいります。

また、環境経営計画等については適宜見直しを図り、全社員での目標達成に向けて取り組みを進めていきたいと思っています。

2026年1月30日

緑造園興業株式会社

代表取締役 植原 成典

10. 具体的取組内容

●消費電力量と水使用量の削減に向けた取組●

太陽光発電導入



2025年1月より稼働
電気代や二酸化炭素排出量を大幅に削減



緑のカーテン



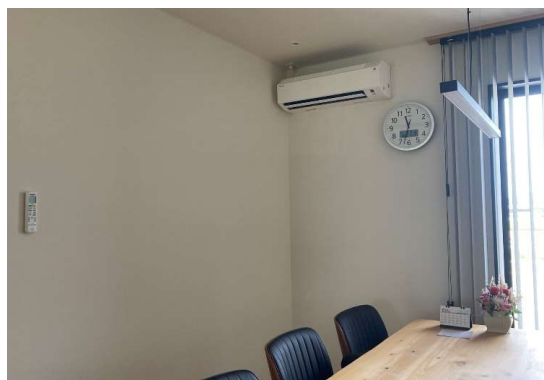
ゴーヤとアサガオの緑のカーテンを設置
直射日光を遮り室内温度上昇を抑制



間仕切り



間仕切りとエアコンを新たに設置
空間を区切り冷暖房効率を向上



井戸水自動散水



節水ホースと自動散水タイマーを設置
節水率の向上



●消費燃料の削減に向けた取組●

社用車購入



低燃費、騒音規制車、LEDランプ使用



工具購入



低燃費刈払機、充電式剪定バサミ、トリマー、ブロー



運転意識向上



「歩行者ファーストかがわ」参加 9月～12月実施



「エコドライブ」 11月実施



●熱中症対策に関する取組●

研修会参加



「建設業等における熱中症予防研修」



「高松市熱中症対策セミナー」



熱中症対策飲料・あめ・冷却グッズ・気化冷却ベスト支給



●社会貢献に関する取組●

ハブラシリサイクル



使用済みハブラシを新しいプラスチック製品に再生するプログラムに参加し、社内でハブラシの回収を開始した。



献血活動参加



●地域貢献への取組●

オアシスマップ登録



ペットボトルなど使い捨てプラスチック削減の取り組みに参加するため、マイボトル持参者がお水やお湯を提供できる場所として「オアシスマップ」に登録した。



高校生との連携授業



近隣の農業学科系高等学校の生徒を対象にした「農業者の仕事の紹介及び農業経営の魅力について助言等行う連携授業」に造園業者として今年も参加した。多くの生徒と意見交換を行うことで、職業意識の向上や社会性の育成に貢献することのできる大切な機会となった。



地元企業特産品購入



地域経済の活性化に繋がるよう地元企業が香川県産原料で作った特産品を購入し、社員に支給した。



ワイン



オリーブオイル

近隣ホテル利用



弊社吉原工務部長が「瑞宝単光章」受章
近隣ホテルを利用し祝賀会開催



廃棄物研修会参加



廃棄物分類や収集運搬上の注意事項を再確認



イベントボランティア活動



地域行事への協力として、子ども野球教室、クロスカントリー大会に協賛・参加した。
また、ボランティア活動、消防団活動、県道沿い美化活動、近隣清掃など地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいる。

(クロスカントリー大会協賛・参加)



(子ども野球教室協賛・参加)



(公園清掃ボランティア)



(消防団活動)



(社屋周辺美化活動)



(段差対策)



(近隣清掃活動)



エコ商品使用



エコパックお茶



再利用ネット



森林認証コピー用紙



●訓練・教育への取組●

災害等緊急事態発生時を想定し、現場、事務所内それぞれの場所で避難訓練及び点呼・安全確認を行う防災訓練を行った。また、大川広域消防本部職員による普通救命講習を受講し、AEDを使用した心肺蘇生法を学んだ。

（災害時を想定した避難訓練）



（普通救命講習）



●健康への取組●

東讀保健福祉事務所講師の方より、「現場で働く人の健康チェック」についての講話、呼気中の一酸化炭素濃度や骨密度など計測を行った。自身の身体の健康についてチェック、保健師の方より各数値を基にした個別のアドバイスをいただいた。

